

# 習近平総書記の動向

田中 修

## はじめに

習近平総書記は、8月18日、午前中に中央改革全面深化領導小組第4回会議を、午後に中央財經領導小組第7回会議を開催した。本稿では、それぞれの会議における習近平総書記の重要講話の概要を紹介する。

## 1. 中央改革全面深化領導小組第4回会議

会議には、副組長の李克強・劉雲山・張高麗が出席した。取り上げられたテーマは多岐にわたるが、ここでは重要なものにつき、習近平総書記の重要講話を紹介する。

### (1) 国有企業改革

#### ①報酬

国有企業とりわけ中央管理企業は、国家の安全と国民経済の命脈に関わる主要業種とカギとなる分野において支配的地位を占めており、国民経済の重要な支柱であり、わが党の執政とわが国の社会主義国家政権の経済基盤において支柱の役割を發揮しており、うまく運営されなければならない。

改革開放以降、中央管理企業の責任者の報酬制度改革は積極的な成果を得、企業の改革・発展促進にとって重要な役割を發揮してきたが、同時に報酬構造が全て合理的というわけではなく、報酬監督管理体制が十分健全とはいえないといった問題も存在する。

わが国の社会主義初級段階という基本国情から出発し、国有資産管理体制と国有企業改革プロセスに適応し、国有企業の所得分配秩序を徐々に規範化し、報酬水準が適切で、構造が合理的で、管理が規範的で、監督が有効となることを実現し、不合理で高すぎる所得に対しては調整を進めなければならない。

中央企業の責任者は、国有企業をうまく運営し、国有経済を立派にするという使命を担っており、任を担う意識・責任意識・奉仕意識を強化し、この改革に正確に対応し、積極的に支援しなければならない。

#### ②職務履行への待遇・業務上の支出

中央企業責任者の職務履行への待遇・業務上の支出を合理的に確定し、かつ厳格に規範化することは、作風の改革を深化させるものであり、反「形式主義・官僚主義・享楽主義・贅沢浪費の気風」を深化させるものである。国有企業は中央の8項目規定の精神を貫徹実施し、節約励行・浪費反対の模範とならなければならない。

中央企業責任者の職務履行への待遇・業務上の支出を合理的に確定し、国家が規定する職務履行への待遇と財務制度の規定・基準に符合する業務上の支出を除き、国有企業責任

者のその他の「職務上の消費」は存在せず、職務によって消費の定額を設け、かつこれを金額化して個人に渡すような方法を断固として根絶しなければならない。

## (2) 重要改革措置の実施計画

党 18 期 3 中全会の重要改革措置実施計画（2014—2020 年）は、今後 7 年間の改革実施に対する全体的な手配をなすものであり、改革措置ごとの改革ルート・成果の形式・時間の深度を際立たせており、今後一時期の改革を指導する総施工図・総台帳である。

中央の関係部門は、計画の実施活動を真剣にしっかり組織化し、これにリンクする関連改革を統一的に企画し、改革の進度を合理的に安排し、改革の成果を実際化・詳細化し、改革と関連する法律の立法・改廃との関係をうまく処理し、実施における問題を遅滞なく解決して、改革の任務実施に努めなければならない。

## 2. 中央財經領導小組第 7 回会議

会議には、副組長の李克強・劉雲山・張高麗が出席した。テーマは、イノベーション駆動による発展戦略の検討・実施であり、科学技術部と国家発展改革委員会からの報告、メンバーの討論の後、習近平総書記が以下のような重要講話を行った。

改革開放 30 年余り、わが国は科学技術水準の全体的飛躍を実現し、既に重要な影響力を備える科学技術大国となり、経済社会の発展に対する科学技術イノベーションの支え・引率の役割は日増しに増強されている。

現在、新たな科学技術革命と産業の変革は胎動・勃興しつつあり、グローバルな科学技術イノベーションは新たな発展態勢と特徴を示しており、新技術が旧技術に代替し、知能タイプの技術が労働集約型技術に代替する傾向が明白となっている。

わが国の要素コストの優位性による駆動、資源の大量投入、環境の消耗に依拠した経済発展方式は既に継続し難くなっている。我々は緊迫感を強め、チャンスをしっかり掴み、発展戦略を遅滞なく確立し、自主的なイノベーション能力を全面的に増強して、新たなグローバルな科学技術競争の戦略的主動権を掌握しなければならない。

発展上から見て、主導国家発展の命運の決定要因は、社会生産力の発展と労働生産性の向上であり、科学技術イノベーションを不断に推進し、社会生産力を不断に解放・発展させ、労働生産性を不断に高めてこそ、初めて経済社会の持続的で健全な発展を実現できるのだということを、我々は認識しなければならない。

イノベーション駆動による発展戦略を実施するための基本要件として、次の 4 点を提起する。

### **(1) 発展にしっかりと焦点を定め、正確な方向をしっかりと把握する**

グローバルな科学技術の発展方向をフォローし、追いつき追い越すよう努力し、カギとなる分野の格差縮小に努め、比較優位を形成しなければならない。

問題指向を堅持し、国情から出発してフォロー・ブレイクスルーの戦略を確定し、積極的にフォローし、入念に選択し、なすべき事とすべきでない事を区別するという方針に基づき、わが国の科学技術イノベーションの主たる攻め口と突破口を明確にしなければならない。

見定めた方向に向かって、計画・布陣を先取りし、投入を強化し、カギとなるコア技術の突破に力を入れ、追いつき追い越しさらにはリードするための歩みを加速しなければならない。

### **(2) 奨励を強化し、イノベーション人材の集約に力を入れる**

イノベーション駆動は、実質上人材駆動である。規模が宏大で、イノベーション精神に富み、敢えてリスクを引き受けるイノベーション型の人材群の育成を加速するため、上手な使用・招聘・育成の面で重点的に努力しなければならない。

科学者・科学技術人員・企業家をうまく用い、彼らのイノベーションの情熱を奮い立たせなければならない。

資本と人材の招致・集中に併せ取り組むことを学び取り、天下の英才を選んで用い、各種のイノベーション人材とりわけ最も不足している人材を広範に吸収しなければならない。

### **(3) 改革を深化させ、健全な体制メカニズムを確立する**

世界の科学技術の先端、国家の重大な需要、国民経済の主戦場に向け、改革を入念に設計し大いに推進することにより、機構・人材・装置・資金・プロジェクトをみな十分活性化させ、科学技術イノベーション発展を推進する強大な合成力を形成しなければならない。

企業をイノベーションの主体とし、産・学・研究機関の深度のある融合を早急に推進することについて、計画を立て推進しなければならない。

ルールを遵守し、奨励を強化し、合理的に分業し、分類して改革するという要求に基づき、科学研究院・研究所の改革を引き続き深化させなければならない。

機能転換を目標として、政府の科学技術管理体制改革を推進しなければならない。

### **(4) 開放を拡大し、国際協力を全方位で強化する**

「導入」と「海外進出」を結びつけることを堅持し、グローバルなイノベーションのネットワークに積極的に融け込み、わが国の科学技術イノベーションの国際協力水準を全面的に引き上げなければならない。

イノベーション駆動による発展の政策・手配を早急に打ち出し、国家重大科学技術特別

プロジェクトを早急を実施し、国家の戦略意図を体現した重大科学技術プロジェクト・重大プロジェクトを再選択し、パワーを集中して、協同で難関を攻めなければならない。

イノベーション駆動による発展のトップダウン設計方案の検討・提起を加速し、中央の財政科学技術資金の管理改革方案の検討・提起を加速しなければならない。

関連法規を早急に改正・整備し、更に積極的な科学技術イノベーション人材の招聘政策を実施しなければならない。

一部省・区・市系統で全面的なイノベーション改革テストを推進することを検討し、イノベーションの模範・牽引作用を備えたいくつかの地域的なイノベーション・プラットフォームを形成しなければならない。

(8月19日記)